

第25回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時: 令和5年3月14日(火)10:00～

場所: 山梨県立図書館(多目的ホール)

■委員会出席者

早稲田大学 理工学術院

創造理工学部社会環境工学科 教授

(一社)山梨県タクシー協会 会長

(一社)山梨県バス協会 専務理事

(一社)山梨県トラック協会 会長

山梨経済同友会 代表幹事

甲府商工会議所卸売商業部会 部会長

(一財)山梨県交通安全協会 専務理事

(一社)日本自動車連盟 山梨支部 事務所長

中日本高速道路(株)八王子支社

総務企画部 企画調整課 担当課長

高速道路事業部 交通管制課 課長

甲府保全・サービスセンター所長

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局首席運輸企画専門官

山梨県観光文化部観光文化政策課長

山梨県県土整備部道路整備課長

山梨県県土整備部道路管理課長

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所長

山梨県警察本部交通部 交通規制課長

国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長

佐々木 邦明(委員長)

雨宮 正英

篠原 勇

坂本 幸晴

(代理:専務理事 中村 勇)

入倉 要

有野 義人

矢崎 正美

野村 昌志

(代理:推進課総務係(兼)事業係 三枝成己)

恩田 雅也

(代理:課長補佐 登坂 愛)

西田 匡志

(代理:課長代理 平井 章一)

吉田 英明

秋山 裕保

樋田 洋樹

(代理:総括課長補佐 田中 公代)

立川 学

(代理:道路企画監 関 俊也)

水口 保一

留守 洋平

大勝 和彦

(代理:規制第一係長 青木 貴博)

(オブザーバー)

(敬称略)

■議事内容

<渋滞対策>

1. 主要渋滞箇所に関する話題
 - ① 委員会の検討経緯と今回の論点
 - ② 第24回委員会意見への対応
 - ③ 短期対策を当面未対策とする箇所の検討状況
 - ④ ピンポイント渋滞対策の検討状況
 - ⑤ 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討
 - ⑥ TDM施策に関する検討
2. その他

<交通安全対策>

1. 委員会の経緯と今回の論点
2. 前回委員会(第24回)の振り返り
3. 前回委員会意見への対応報告
4. 経過観察箇所の評価結果
5. 第2次事故ゼロプランの状況報告
6. 今後のスケジュール

■審議結果

●渋滞対策関係

<決定事項>

- ・ 短期対策を当面未実施とする箇所の検討について、2箇所を経過観察とすることで、了承を得た。

<議事内容>

【委員意見】

- ・ 勝山交差点(旧:(仮称)鳴沢村交差点)は芝桜祭りなどのイベント時に限って渋滞発生するが、他の期間は特に問題ないと認識している。
- ・ 大月バイパスの開通に伴い、都留高校南交差点で渋滞しているため、対策を検討頂きたい。
- ・ 資料の24頁で大月市立病院入口交差点周辺が令和5年度対策実施予定とあるが、バイパス開通により、交通が転換したので、対策する必要は特にないと考えている。

【事務局回答】

- ・ 大月バイパスが昨年4月に開通し、都留高校南交差点において特に平日朝夕ピーク時に渋滞が発生していると認識している。これまでに、山梨県警とともに信号現示を調整し既に対策を実施している。また、国道139号の縦断線形の改良事業を実施中であり、引き続き対策を検討していく。
- ・ 大月市立病院入口交差点については、都留高校南交差点の改良工事も含めて対策を実施するということで、大月市立病院入口交差点でのハード整備などは予定していない。

【委員質問】

- ・ 富士山駅前交差点で時差式信号の対策を行うには B 方向を右折禁止にしなければ実施困難である。B 方向からの右折車両が後続の直進車を阻害することが想定される。

【事務局回答】

- ・ B 方向を右折禁止にしなければ、A 方向の時差式信号を導入できない旨を承知した。B 方向の右折禁止の運用については、地域の方の合意も必要であり、現実的に実施困難と考えている。

【委員長意見】

- ・ 富士山駅前の対策については今回提案頂いた内容は実施が難しいため、継続して対策を検討頂きたい。

【事務局回答】

- ・ 承知した。

【委員意見】

- ・ 今回の議題から外れるが、舞鶴通りの南から北への交通が渋滞している話を頻繁に耳にする。この渋滞発生についてどのように考えているか。
- ・ 渋滞対策を考える中で活用できそうな色々なデータが集まってきている中で、AI を利用した信号機がどの程度進んでいるのか、もし情報をお持ちであればお聞かせ頂きたい。

【事務局回答】

- ・ 舞鶴通りが渋滞していることは認識している。和戸町竜王線が全通するとさらなる渋滞発生が予測できるため、甲府市と連携しながら、道路網全体について今後検討を進めていきたい。
- ・ AIを活用した信号機について、神奈川県は国道1号戸塚付近で実験的に設置して、交通処理をした事例がある。山梨県内の直轄国道では事例はないため、試験的に導入できる可能性があれば渋滞対策の中で検討したい。山梨県警と調整させて頂きながら進めていきたい。

【委員長意見】

- ・ 道路事業完了に伴う交通流動の変化を広域的に事前に予測して、渋滞発生の可能性がある箇所について前もって対策を検討頂きたい。
- ・ サンプル数の問題があるかもしれないが、ETC2.0 データの旅行速度以外の経路情報などを活用して、面的な交通の変化を捉えることで、有効な対策案を検討頂きたい。
- ・ 船山橋北詰交差点について、今回は対策なしとのことで当面道路拡幅などの抜本的対策は困難かと思うが、著しく渋滞しているため、面的な流動も確認することで、場合によっては TDM 施策の検討等にも繋がるかと思う。
- ・ 浅原橋西交差点についても、所要時間などの要因について ETC2.0 データを活用した検討により、的確な対策立案が可能かと考えられる。

【事務局回答】

- ・ 承知した。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・ 対策後4年が経過した経過観察箇所のうち、指標に該当する1箇所を第2次事故ゼロプランに追加することを提示し、了承を得た。

<議事内容>

【委員長意見】

- ・ 携帯等のGPSデータを活用した歩行者動線についての分析により、歩行者と自動車が分離できていないなどの潜在的な課題が見えるというのは非常に興味深く、今後も検討を続けて頂きたい。

【事務局回答】

- ・ 承知した。



第25回委員会の実施状況